

詰将棋全国大会レポート（４）

全詰連第三回全国大会

*第４回の誤りと思われる

１９６６年５月

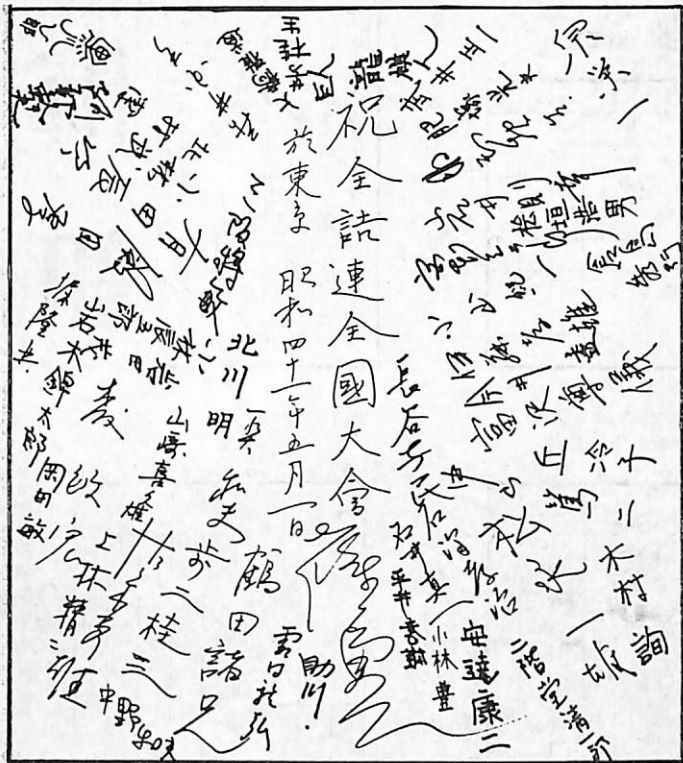
東京都 日本女子会館にて

参加者 ５５名

詰将棋パラダイス １９６６年６月号より

全詰連第三回全国大会

東京



◇とき 昭和四十一年五月一日
 ◇ところ 東京都港区 日本女子会館
 ◇集つたひと 敬称を略します

八段 芹沢博文、六段 米長邦雄、
 七條兼三、佐々木秀雄、小林豊、
 岩木錦太郎、中山篤二、泉 栄一、
 宮本三二郎、森田正司、堀 隆興、
 藤井国夫、二階堂清一郎、森敏宏、
 小林辰五郎、小林 武、助川 勇、
 黒川一郎、北村 潔、霜田雅弘、
 今井 透、岩田 茂、安達康二、
 門脇芳雄、平井孝雄、肥塚光夫、
 武井正一、倉島秀之、駒場和男、
 関 和夫、上林精二、松垣浩男、
 以上東京都

伊藤孝雄、村松秀雄、小山紀一、
 石井真一、富沢尊儀、飯田 厚、
 松永一雄、阿部幹夫、木村 詢、
 以上神奈川県

有田辰次、山崎喜久雄、須貝敏雄、
 中野和夫、以上千葉県

北川 明、長谷与民、三阪将敏、

：以上大阪市

大橋雅道（神戸市）

中里善則（栃木県）

新井正道（群馬県）

石沢孝治（新潟市）

服部彰夫、岩井則幸、鶴田諸兄

：以上愛知県 計五十五名

◇会のあらまし

☆午後一時半開会、岩木氏の開会の辞

七條氏の主催者代表あいさつ。

☆祝辞、芹沢八段、米長六段、近将の

森氏、田中鵬看氏（岩木氏代読）

☆祝電披露―二上八段、鳥越九郎、伊

藤三雄、田中至、市田霧山、加賀茂

理、早川茂男、吉田健の各氏より。

☆次いで約20分、主幹より全詰連、詰

バラの運営についての報告。

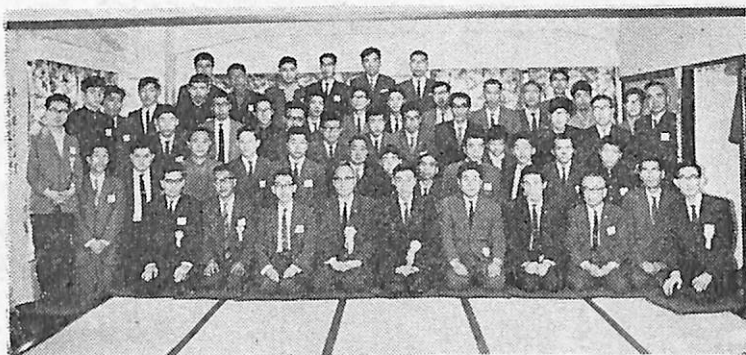
☆大いなる発言

出席各氏から自己紹介をかねて詰バ

ラに対する提言あり。

☆芹沢八段の指導対局

大阪より参加の長谷与民四段が角落
で指導を受ける。対局は別室で、会



場大盤に移し、米長六段の解説によ

り出席者一同これを鑑賞、中盤で懸

賞次の一手々をやり、正解者九名

あり、結局時間に追われた長谷氏の

惜敗に終わった。（この棋譜はいずれ

誌上に紹介します。）七條氏提供。

☆討論会

森田正司氏の司会で討論会を行う。

☆席上懸賞詰将棋

七條兼三氏作の七手詰を提供。

☆記念撮影

☆七條氏の発声で万才三唱、閉会。

◇懇親会

午後七時より別室で懇親会が盛大に

催され、和気あい／＼裡に午後十時

無事故会となりました。

◇寄贈

金彦封 七條兼三氏、佐々木秀雄氏

市田霧山氏、関和夫氏

のみもの一切 七條兼三氏

チャーチル銀貨その他多数 同氏

書籍 田辺重信氏、里見義周氏

清酒 永井英明氏、賞状 渡辺氏